

DDF発売開始

LPG容器搬送用に開発

エフ・ケイ
エム・ケイ
エフ・ケイ
エム・ケイ



エフ・ケイメカニク（大分市・古川克己社長）は今年9月に、かねてから開発中だった「日野デュトロディーゼルデュアル燃料エル車（DDF）」の市販を開始した（写真）。

DDFトラックは軽油とLPGを混合燃焼し走行する自動車で、燃費向上による経済性と排気ガス中の有害物質を低減する環境性、そしてLPGを使い切った時でも軽油のみで走行が可能となる実用性に優れたトラックだ。一昨年から同社がヨーロッパのシステムを採用し、マツダのCX-15で開発を開始。昨年5月にデュトロでの

開発に踏み切り、今年9月に市販感で、LPGボンベを満載して送るようになった。LPG容器搬送事業用に開発しており、リア不足はないのではないかと評し垂直ゲートつき、最大積載量や荷台の大きさなど、販売事業者が求めているサイズの車両となっている。

最大の特徴は燃費の向上だ。実際の走行データから算出したLPGの使用割合は20%から30%程度となっているため、軽油使用量を20%から30%削減でき燃料費を抑えることができる。使用割合は走行条件や積載量により変化しますが、高速道路などの定速走行では割合が増加する傾向にある。

さらにエンジン出力ではディーゼルエンジンと同等の数値を出しており、常用回転域のトルク（力）は向上している。そのため古川社長は「体感的には軽快な走行を実現

感で、LPGボンベを満載しても従来のLPG専燃車のような力不足はないのではないかと評している。

今後は発売と同時に導入ユーザーからの協力を仰ぎながら、定期的な燃費データ取得やドライバーからのヒアリングを実施し、さらなる燃費効率の改善と調整作業を展開していく方針だ。古川社長は「初期注文30台までについては、特別価格を設定し、ユーザーの導入に弾みをつけたい」と語り、より高度な車への発展を目指している。

車両の詳細は次の通り。
 ▽車両名 日野デュトロTKG
 ーXZU600EーTKMQB型
 （最大積載量3ト）
 ▽エンジン ーN04C型（134PS）5速マニュアルミッション。
 （大分）

断できないのは 潜在化している転籍動 顕在化する可能性が考えられる。

不順で商戦に狂い

不順で商戦に狂い

「今年は10月は「秋晴れ」で、行楽需要を大きく押し上げているところ

「秋晴れ」で、行楽需要を大きく押し上げているところ

「秋晴れ」で、行楽需要を大きく押し上げているところ

JOX石油製品現物インデックス10月26日(水)

[海上]	ガソリン	灯油	軽油
京浜	43.85	43.85	45.30
中京			41.50
阪神		41.50	42.00
大西	42.50	43.50	45.30
			45.40
			43.50

[陸上]	ガソリン	灯油	軽油
千葉・川崎(製)			
中			
阪			
東			
中			
阪			

H28.10.28 燃料油脂新聞

は値上げに転じた。コープさっぽろでは「仕切りコスト上昇」ともない企業努力では吸収できる範囲を超えた」と説明している。

ガソリン平均1円値下がり

北陸業転市況

【金沢】北陸3県の22日出荷分の業転価格（SS届け・消費税別）

28日出荷分の業転価格

30銭〜2円60銭

り、または50銭

銭値下がりや据

あり、73円80銭